

松江市 報道提供資料

令和7年5月12日

件名

松江市内における細菌性赤痢患者の発生について

内容

5月12日、松江市内の診療所から松江保健所に細菌性赤痢患者発生の届出がありました。現在、松江保健所が感染経路等の調査を実施しています。

※詳細は別添資料のとおりです。

【問い合わせ】

健康福祉部 保健衛生課 担当：藤本、山坂 電話：0852-61-2001

対応時間：5月12日 19:30（終了予定）

細菌性赤痢患者の発生について

1 概要

5月12日、松江市内の診療所から松江保健所に細菌性赤痢患者発生の届出がありました。現在、松江保健所が感染経路等の調査を実施しています。

2 患者

松江市内在住の30歳代男性

症状:発熱、下痢、しぶり腹、粘血便

経過:4月25日 インドに出国

5月2日 腹痛、水様性下痢

5月5日 粘血便

5月7日 インドから帰国、市内病院を受診

5月12日 市内診療所を受診 医師が細菌性赤痢と診断

診療所から松江保健所へ細菌性赤痢患者発生の届出

現在、患者は回復傾向です。

3 対応状況

- ・患者の行動調査等
- ・接触者の健康調査、検便
- ・手洗い等、二次感染予防の指導
- ・家庭のトイレ等の消毒指導

【市民の皆様へ】

細菌性赤痢の主な感染経路は経口感染です。

海外旅行で感染症にかからないように、次の事項に注意して下さい。

- ①なま水はさける。(煮沸した水や缶や瓶入りのミネラルウォーターは飲んでもよい)
- ②なまもの(生の魚介類、生野菜やフルーツ、アイスクリーム、氷等)はさける。

【参考1】松江市内の発生状況(三類感染症)

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
コレラ					
細菌性赤痢					1*
腸チフス			1		
パラチフス					
腸管出血性大腸菌	3	2	1	3	1

*本件を含む

【参考2】細菌性赤痢の臨床症状等

- ・赤痢菌の経口感染で起こる急性感染性大腸炎です。
- ・患者の便に汚染された食品や水等を介して、口から入ることによって感染します。
- ・潜伏期間は、1～5日、通常は3日以内です。
- ・典型的な症状は、全身倦怠感、悪寒を伴う発熱、腹痛、水様性下痢です。
- ・国内では年間百例程度報告があり、その多くは海外での感染事例です。

プライバシーを尊重した対応をお願いします